

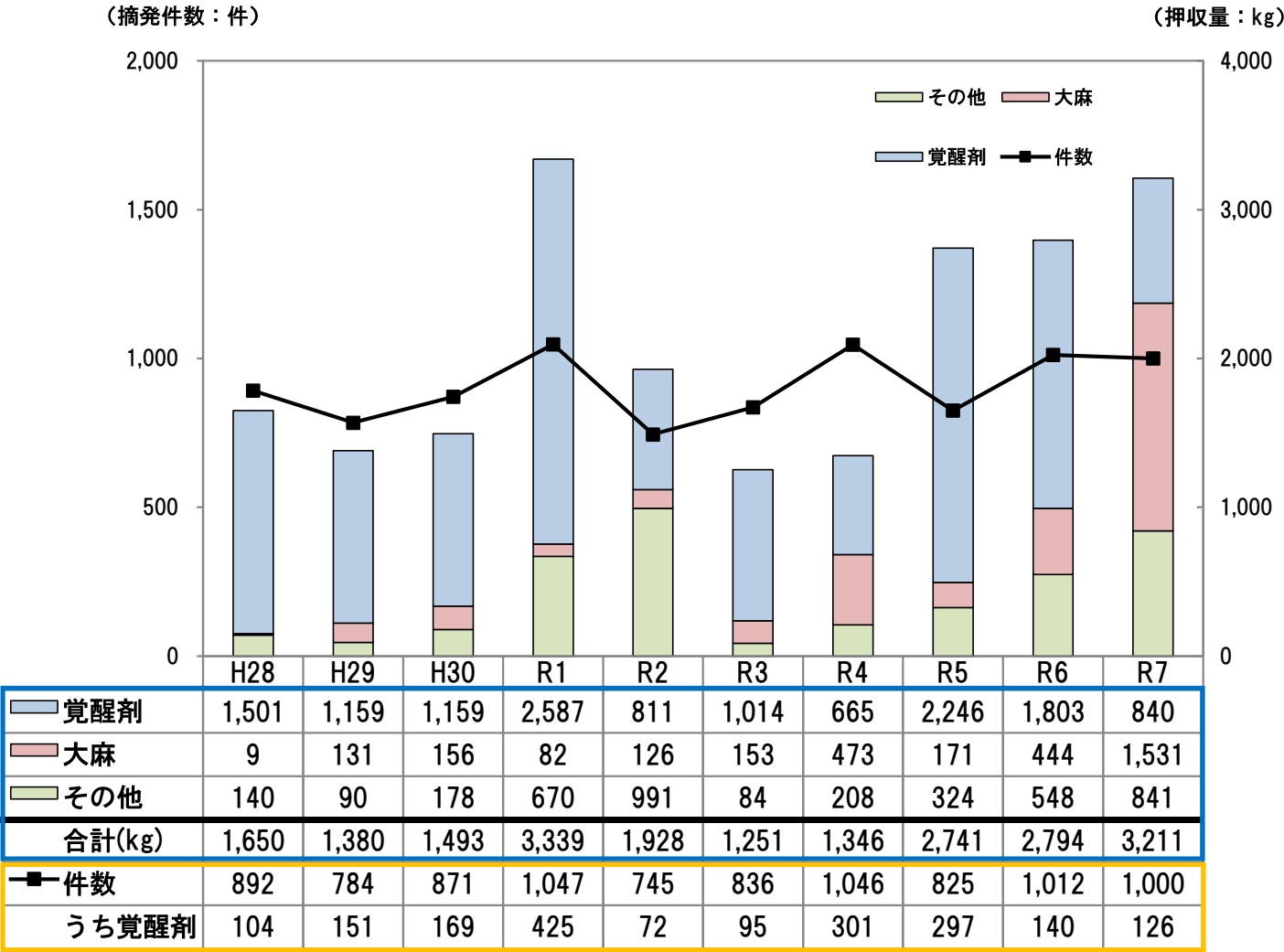
I. 不正薬物の密輸動向

1. 不正薬物の摘発状況

令和7年の1年間における不正薬物^{*1}全体の押収量^{*2}は約3,211 kgと増加（前年比15%増）し、令和元年以来6年ぶりに3トンを超え、過去2番目を記録し、引き続き極めて深刻な状況となっています。

^{*1} 覚醒剤、大麻、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
^{*2} 重量等未確定の場合には含まれないものがある（以下、本章内の数値についても同じ）。

不正薬物の摘発件数と押収量の推移



(注) ・令和7年は速報値である（以下、本章内の数値についても同じ）。
・その他とは、あへん、麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）、向精神薬及び指定薬物をいう。
・端数処理のため数値が合わないことがある。

(1) 覚醒剤

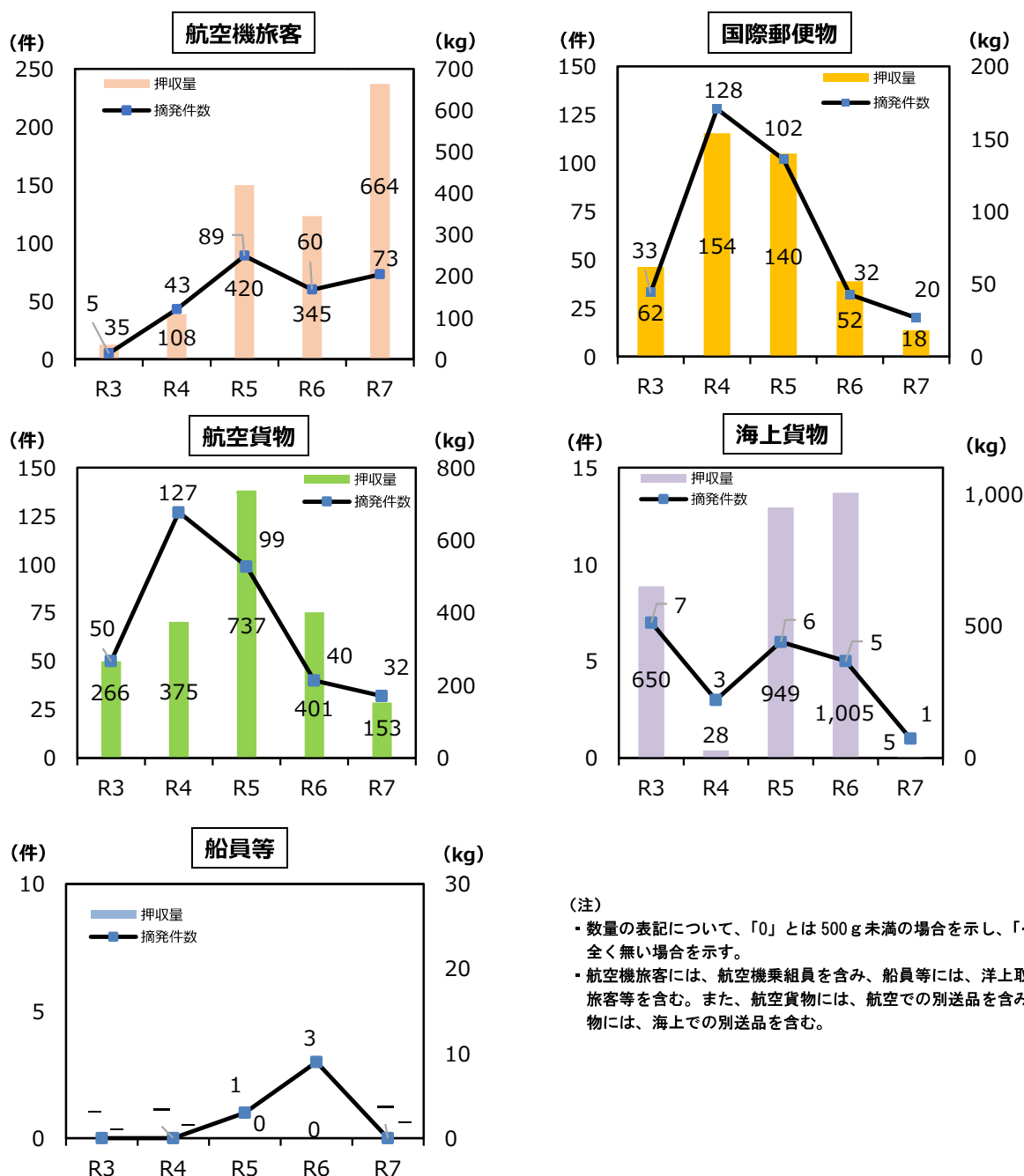
<覚醒剤の摘発状況>

令和 7 年の 1 年間における覚醒剤の摘発件数は 126 件（前年比 10%減）、押収量は約 840 kg（同 53%減）と共に減少し、特に押収量については約半減となる大幅な減少傾向が見られ、総じて減少基調が見られます。

押収した覚醒剤は、薬物乱用者の通常使用量で約 2,799 万回分、末端価格にして約 487 億円に相当します。

密輸形態別の押収量では、航空機旅客が約 664 kgと増加（同 93%増）し、全体の約 8 割を占めている一方で、国際郵便物が約 18 kg（同 66%減）、航空貨物が約 153 kg（同 62%減）、海上貨物が約 5 kg（同 99.5%減）と、大幅に減少しました。

密輸形態別の摘発件数と押収量の推移



＜覚醒剤の主な摘発事例＞

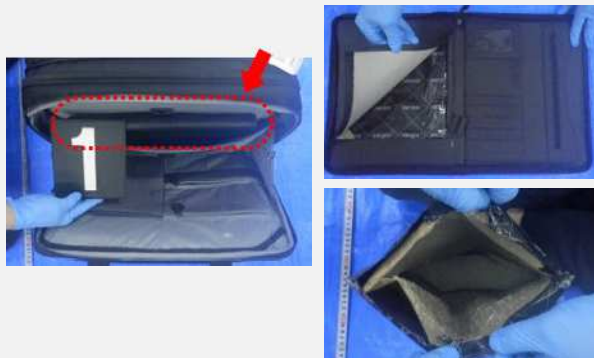
【事例 1】

カナダから福岡空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿された覚醒剤約 30 kgを摘発しました。（令和 7 年 6 月・門司税関）



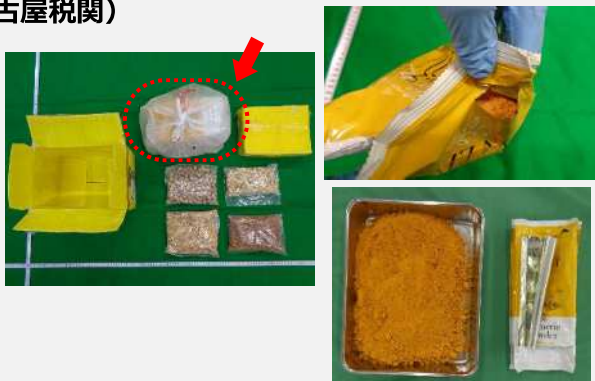
【事例 2】

南アフリカから関西空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿された覚醒剤約 5 kgを摘発しました。（令和 7 年 6 月・大阪税関）



【事例 3】

イランから到着した国際郵便物（食品）に隠匿された覚醒剤約 1 kgを摘発しました。（令和 7 年 3 月・名古屋税関）



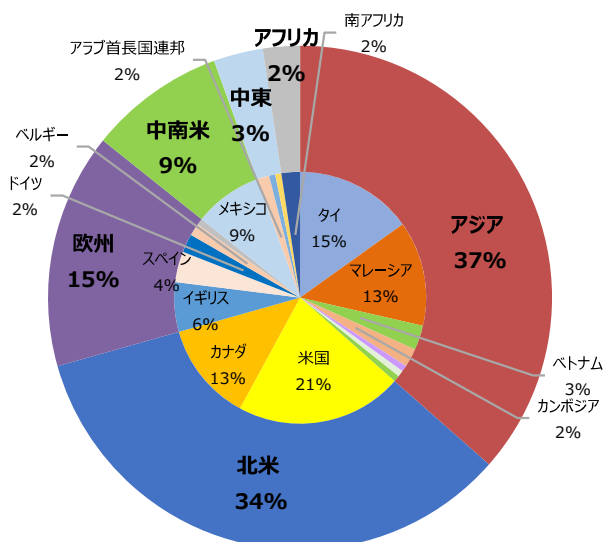
【事例 4】

タイから新千歳空港に到着した旅客の携帯品（ポーチ）に隠匿された覚醒剤約 1 gを摘発しました。（令和 7 年 8 月・函館税関）

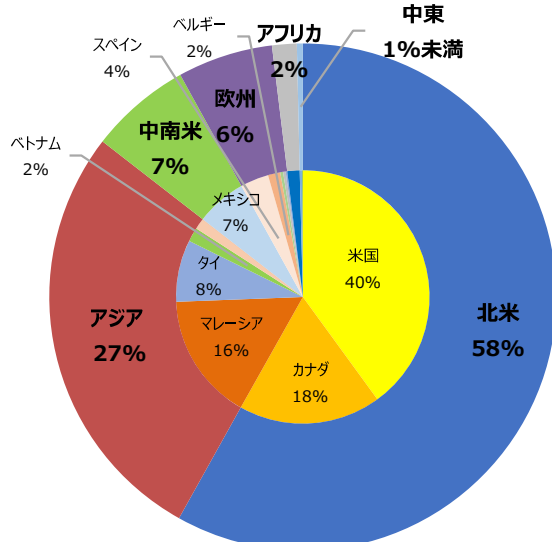


密輸仕出地別摘発実績では、件数の割合をみるとアジアが 37%（46 件）と最多となりました。また、押収量の割合については、北米が 58%（約 488 kg）と最大となりました。

覚醒剤・仕出地域別件数の割合（R7）



覚醒剤・仕出地域別押収量の割合（R7）



(2) 大麻

<大麻の摘発状況>

令和7年の1年間における大麻（大麻草・T H C 類製品^{*1}）の摘発件数は 316 件と減少（前年比 17%減）した一方で、押収量は約 1,531 kgと増加（同約 3.5 倍）しました。

大麻草の押収量は約 1,213 kgと増加（同約 4.5 倍）し、T H C 類製品の押収量は約 318 kg^{*2} でした。大麻草の押収量が大幅に増加した要因として、令和7年6月に東京税関が摘発した大麻草約 1 トンの事件が挙げられます。

^{*1} T H C 類製品は、令和6年12月12日に施行された麻薬及び向精神薬取締法で規制されているT H C 類を含有する液体・菓子類をいう。同施行日前は大麻取締法で規制されていた大麻樹脂、大麻リキッド、大麻菓子等の大麻製品を「大麻樹脂等」で計上していた。

^{*2} 法改正により令和6年12月12日以降の摘発分から計上されているため、前年比を示すことはできない。

密輸仕出地別摘発件数の割合では、米国が 43%、タイが 27%、ベトナムが 8 %となり、北米及びアジアで約 9 割を占めました。

<大麻の主な摘発事例>

【事例5】

ベトナムから到着した海上貨物（コンテナ）に隠匿された大麻草約 1 トンを摘発しました。（令和7年6月・東京税関）



【事例6】

米国から成田空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿された大麻草約 25 kgを摘発しました。（令和7年1月・東京税関）



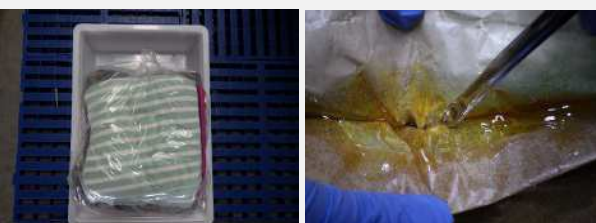
【事例7】

タイから到着した国際郵便物に隠匿された大麻草約 401gを摘発しました。（令和7年1月・函館税関等）



【事例8】

米国から到着した航空貨物に隠匿された液状大麻約 215gを摘発しました。（令和7年6月・長崎税関等）



(3) 麻薬

<麻薬の摘発状況>

令和7年の1年間における麻薬（ヘロイン、コカイン、MDMA等）の摘発件数は311件と減少（前年比3%減）した一方で、押収量は約798kgと増加（同49%増）しました。

コカインについて、摘発件数は85件と増加（同57%増）した一方で、押収量は約238kgと減少（同12%減）し、小口化の傾向が見られます。

MDMA等について、摘発件数は64件と減少（同29%減）した一方で、押収量は約202kgと増加（同9%増）し、大口化の傾向が見られます。

<麻薬の主な摘発事例>

【事例9】

カナダから羽田空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿されたコカイン約22kgを摘発しました。（令和7年1月・東京税関）



【事例10】

ブラジルから到着した国際郵便物（カレンダー）に隠匿されたコカイン約767gを摘発しました。（令和7年6月・名古屋税関）



【事例11】

オランダから到着した国際郵便物（外装ダンボール箱）に隠匿されたMDMA約5,100錠を摘発しました。（令和7年3月・横浜税関）



【事例12】

ドイツから羽田空港に到着した旅客の携帯品（スーツケース）に隠匿されたケタミン約41kgを摘発しました。（令和7年4月・東京税関）



(4) 指定薬物

<指定薬物の摘発状況>

令和7年の1年間における指定薬物の摘発件数は239件（前年比46%増）、押収量は約41kg（同約3.8倍）と共に増加していることから、総じて増加基調が見られます。

<指定薬物の主な摘発事例>

【事例13】

インドから到着した航空貨物に隠匿された指定薬物（エトミデート）約101gを摘発しました。（令和7年7月・門司税関等）



2. 不正薬物の乱用がもたらす影響

覚醒剤や麻薬などは、それを乱用する人間の精神や身体をボロボロにし、人間が人間として生活を営むことができなくなるだけでなく、場合によっては死亡することもあります。

また、不正薬物の乱用による幻覚・妄想が、殺人、放火等の凶悪な犯罪や交通事故を引き起こすことがあるなど、乱用者本人のみならず、周囲の人、さらには社会全体に対しても、取り返しのつかない被害を及ぼしかねないものです。

(1) 精神と身体への影響

覚醒剤をはじめとする不正薬物の乱用は、精神と身体の両面を深く致命的に破壊します。体の主要な器官に次のような深刻な悪影響を及ぼし最悪の場合死に至らしめます。

- ・ 脳…脳の委縮、脳出血〔記憶力低下・ぼけ症状〕
- ・ 眼…視神経の異常、眼底出血〔視力低下・失明〕
- ・ 気管支…粘膜異常〔気管支炎〕
- ・ 肺…粘膜異常〔肺がん〕
- ・ 胃…胃粘膜の異常及び出血〔胃痛・吐き気・嘔吐〕
- ・ 骨髄…赤血球の形成異常〔貧血〕

また、薬物の乱用により、脳の正常な発達を止めてしまい、精神のバランスを悪くさせます。また、一時的に頭が冴える、神経が興奮するというような感覚を得たように感じられることがありますが、その後、脱力感や疲労感に襲われ、ついには幻覚、妄想といった症状が引き起こされます。

(2) 周囲の人たちへの影響

薬物乱用がもたらす影響は個人にとどまらず、周囲の人や社会全体に害をもたらします。代表的なひとつが暴力です。長い間、薬物を乱用していると、知覚障害・食欲減退・情緒障害、幻覚や被害妄想が強くなり、家族に乱暴する、常に凶器をもち歩くなどの異常行動が目立つようになります。家族や周囲の人たちはそれらに振り回され、恐怖と苦痛の毎日を強いられることになります。

また、不正薬物の密売価格は高額であり、莫大な借金に追い回されたあげく、家庭崩壊、生活破綻にまでいきついたり、未成年の子どもが家の金品を持ち出したりするなど、薬物乱用は経済的にも深刻な事態を招きます。

さらに、薬物乱用はさまざまな犯罪にも結びついています。幻覚や妄想、フラッシュバック現象*によって引き起こされる殺人、放火、監禁、傷害などの凶悪な事件や、薬代欲しさの窃盗などが後を絶ちません。

このほか、乱用薬物が国際麻薬犯罪組織や日本の暴力団の資金源になるといった社会問題など、薬物乱用による影響は広い範囲にわたり、さまざまな角度から市民生活を脅かしています。

*薬物の乱用などでひとたび幻覚・被害妄想などの精神病の症状が生じると、治療によって表面上は回復しているかに見えても、精神異常が再び起こりやすい下地が残ってしまい、乱用をやめ、普通の生活に戻ったようでも、何かの刺激によって再び幻覚・妄想などの精神異常が再燃することがあります。これをフラッシュバック（自然再燃）現象といい、お酒を飲んだり心的なストレスなど、ほんの小さなきっかけで起こってしまうのです。

参照、引用先 税関HP

<https://www.customs.go.jp/mizugiwa/smuggler/abuse.htm>